

# 新型コロナウイルス感染症の影響調査 集計結果

2021年12月6日

宮城県がん診療連携協議会

がん登録部会

データ集計

宮城県立がんセンター研究所

がん疫学・予防研究部

金村 政輝

[kanemura@med.tohoku.ac.jp](mailto:kanemura@med.tohoku.ac.jp)

1

## 調査の方法

- 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、どの程度の診断・治療の遅れが生じたのかを明らかにする。

- 実施時期

2021年8月6日依頼

2021年9月30日提出期限

- 調査対象

2017～2020年診断症例（国立がん研究センターに提出した症例）

- 調査項目

右に示す23項目

- 集計・分析

年別・月別の登録数と治療開始までの日数を集計・分析（全施設合計・施設別集計）

|    | 項目名            |
|----|----------------|
| 1  | 性別             |
| 2  | 診断時年齢          |
| 3  | 原発部位《局在コード》    |
| 4  | 診断日            |
| 5  | 診断施設           |
| 6  | 治療施設           |
| 7  | 症例区分           |
| 8  | 来院経路           |
| 9  | 発見経緯           |
| 10 | 進展度（治療前）       |
| 11 | 進展度（術後病理学的）    |
| 12 | 外科的治療の有無       |
| 13 | 外科的治療の施行日（自施設） |
| 14 | 鏡視下治療の有無       |
| 15 | 鏡視下の施行日（自施設）   |
| 16 | 内視鏡的治療の有無      |
| 17 | 内視鏡的の施行日（自施設）  |
| 18 | 放射線療法の有無       |
| 19 | 放射線療法の施行日（自施設） |
| 20 | 化学療法の有無        |
| 21 | 化学療法の施行日（自施設）  |
| 22 | 内分泌療法の有無       |
| 23 | 内分泌療法の施行日（自施設） |

2

# 1 全施設合計

## ① 登録数

- 2020年の登録数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2017～2019年の登録数と比較して減少しているのではないか？

3

## 収集症例数

| 施設名        | 2017年  | 2018年  | 2019年  | 2020年  | 合計     |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 宮城県立がんセンター | 1,907  | 2,001  | 1,983  | 1,993  | 7,884  |
| 東北大学病院     | 3,634  | 3,719  | 4,029  | 3,700  | 15,078 |
| 東北労災病院     | 1,200  | 1,279  | 1,198  | 1,138  | 4,815  |
| 仙台医療センター   | 1,825  | 1,816  | 1,894  | 1,814  | 7,349  |
| 大崎市民病院     | 1,968  | 1,970  | 2,023  | 1,992  | 7,953  |
| 石巻赤十字病院    | 1,974  | 2,055  | 1,995  | 2,061  | 8,085  |
| みやぎ県南中核病院  | 798    | 860    | 980    | 852    | 3,490  |
| 東北医科薬科大学病院 | 1,271  | 1,427  | 1,443  | 1,491  | 5,632  |
| 合計         | 14,577 | 15,127 | 15,545 | 15,041 | 60,290 |

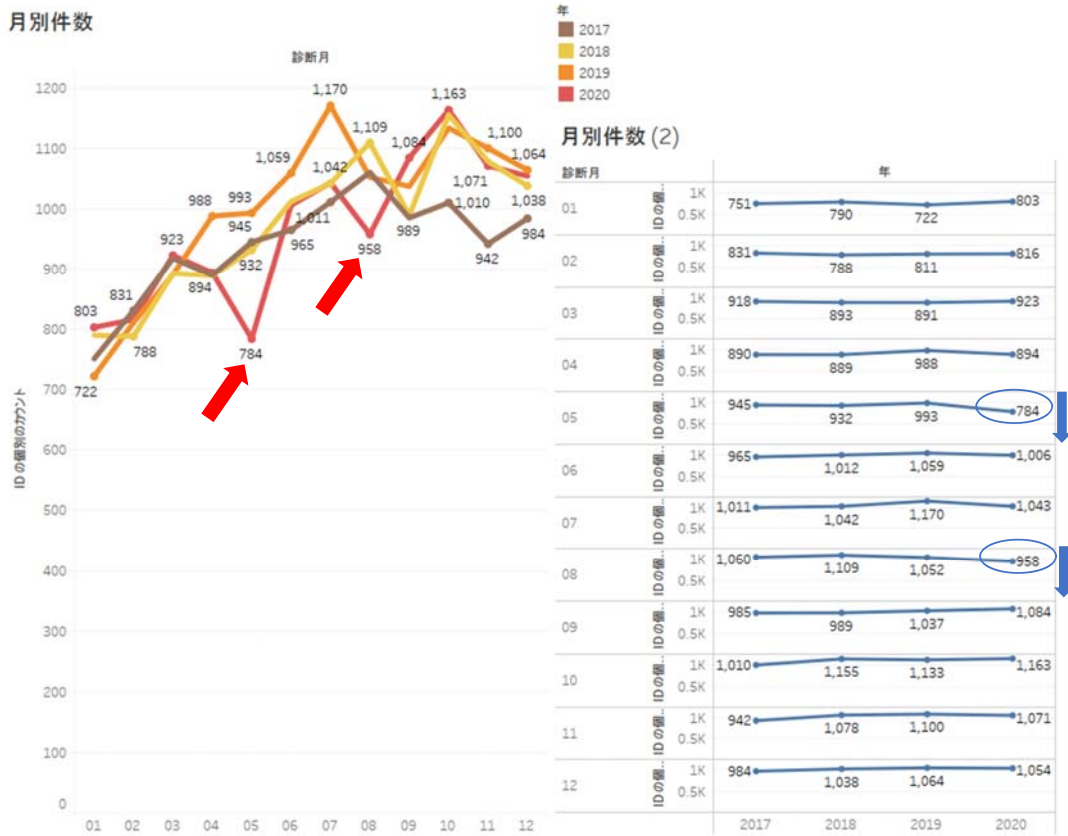
|            |        |
|------------|--------|
| 2017～2019年 | 45,249 |
| 3年間の平均     | 15,083 |
| 2020年      | 15,041 |
| 差          | -42    |
| 差%         | -0.28% |

過去3年間の平均と比較すると、  
2020年は0.28%の減少であった。

4

1①-1 全施設合計・症例数

1年毎に月別で比較すると、5月と8月はいずれの年と比べても登録数が減少



1①-1 全施設合計・症例数

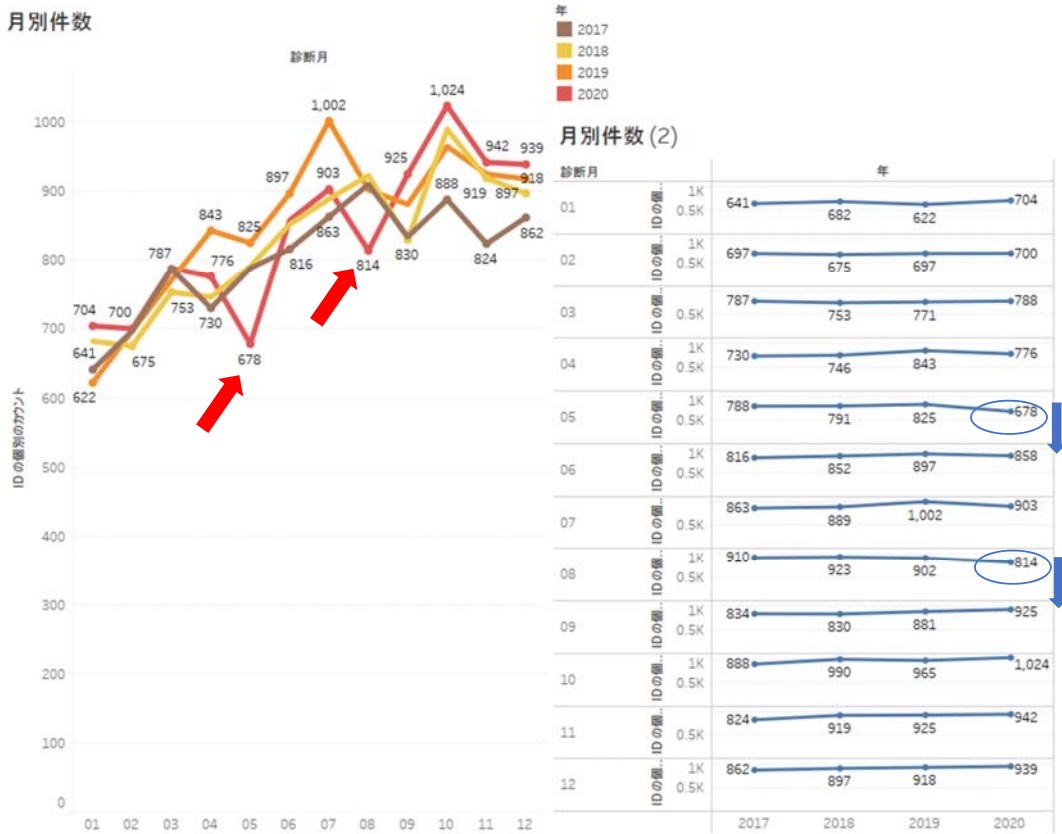
各月毎に過去3年間の平均を算出すると、全体では0.7%の減少  
5月と8月に登録数が減少し、9~12月は登録数が増加



1①-2 全施設合計・症例数

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

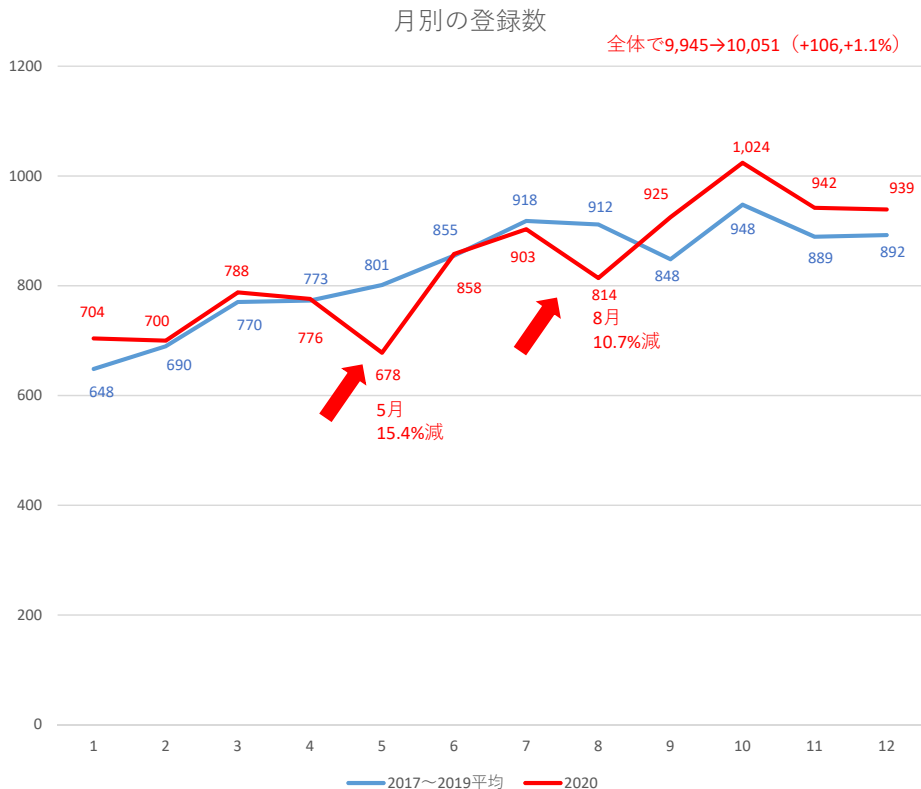
自施設で治療した症例に限定して比較しても同様の傾向



1①-2 全施設合計・症例数

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

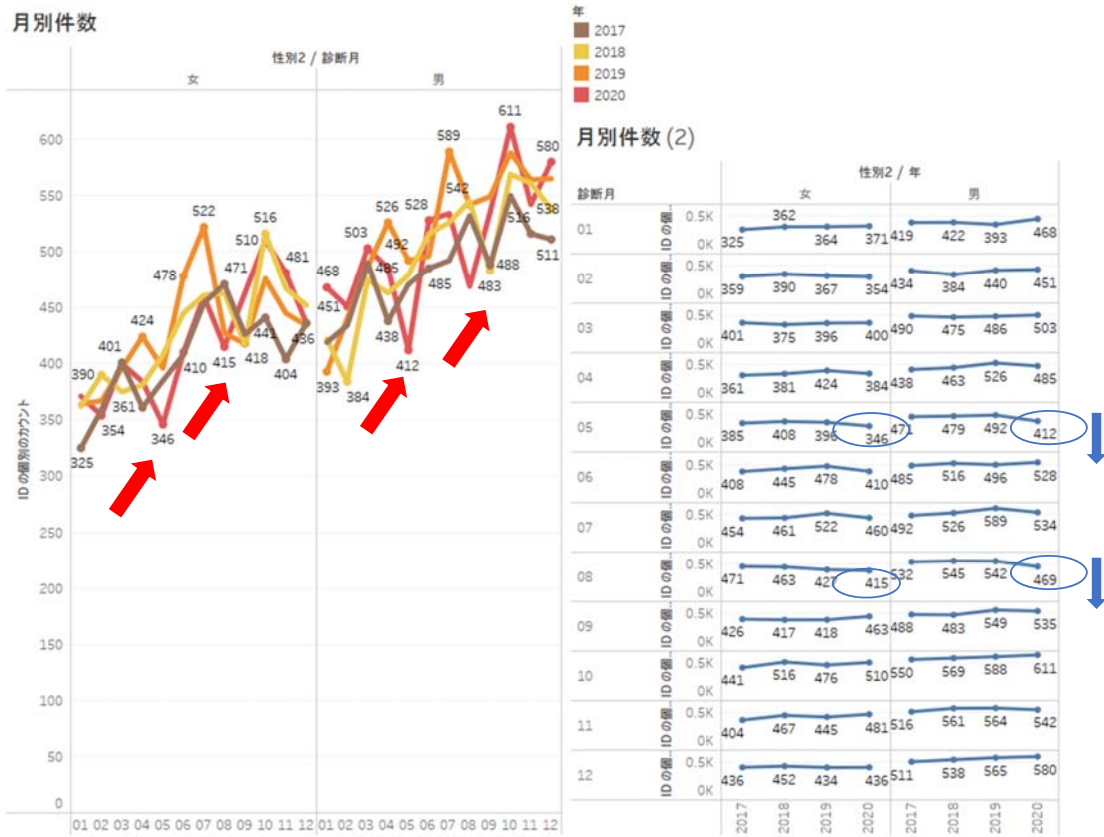
過去3年間と比較しても同じ傾向で、5月と8月に減少し、9~12月に増加



1①-3 全施設合計・症例数・男女別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

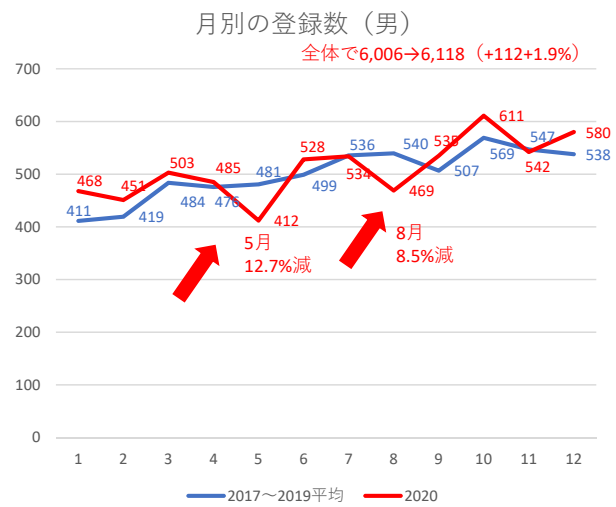
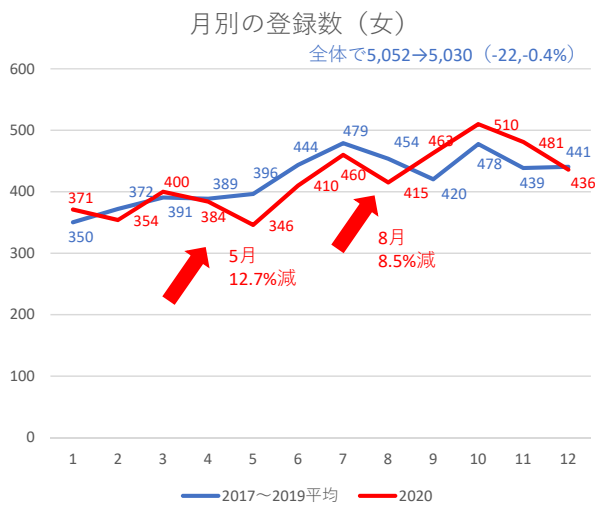
性別で違いはなく、男女とも5月と8月に減少



1①-3 全施設合計・症例数・男女別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

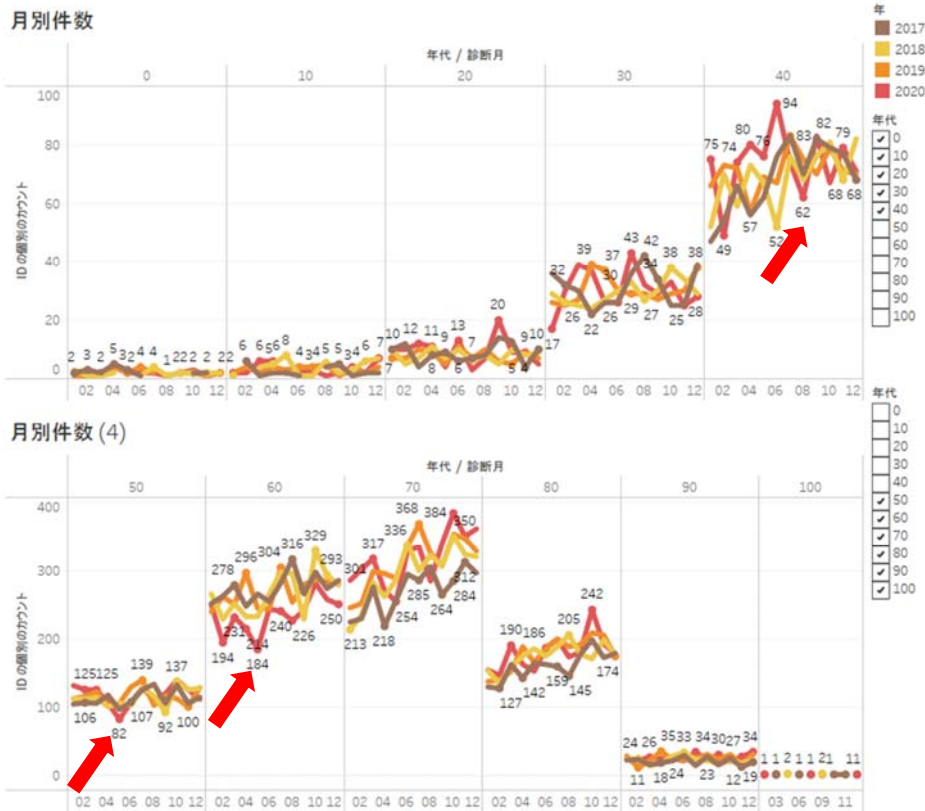
過去3年間と比較しても、同じ傾向で、5月と8月に減少



1①-4 全施設合計・症例数・年代別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

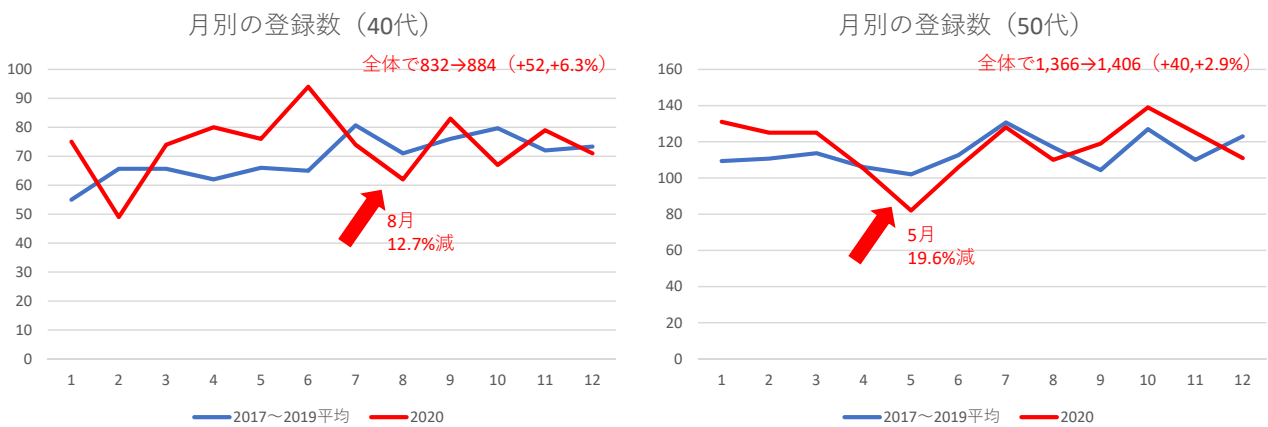
年代別では、40～60代で5月と8月に減少



1①-4 全施設合計・症例数・年代別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

過去3年間と比較すると、40代は8月に減少し、50代は5月に減少  
ただし、1年間の合計では増加

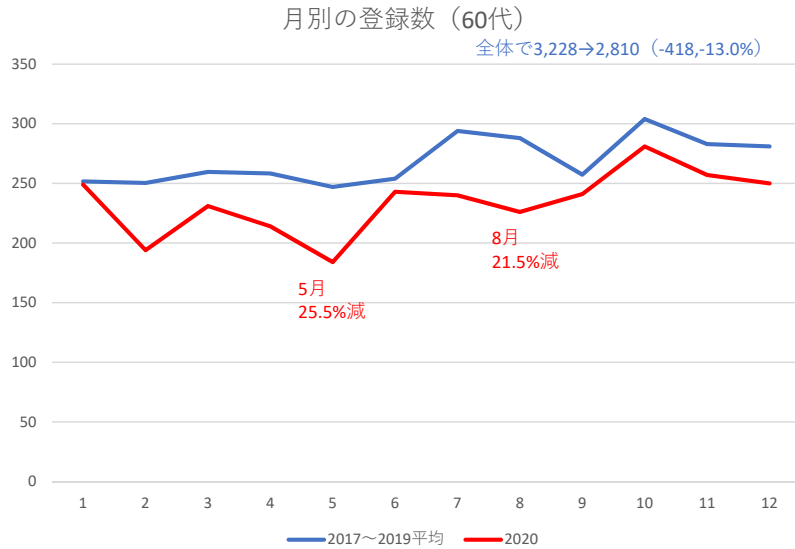


1①-4 全施設合計・症例数・年代別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

60代では1年間を通して13.0%減少

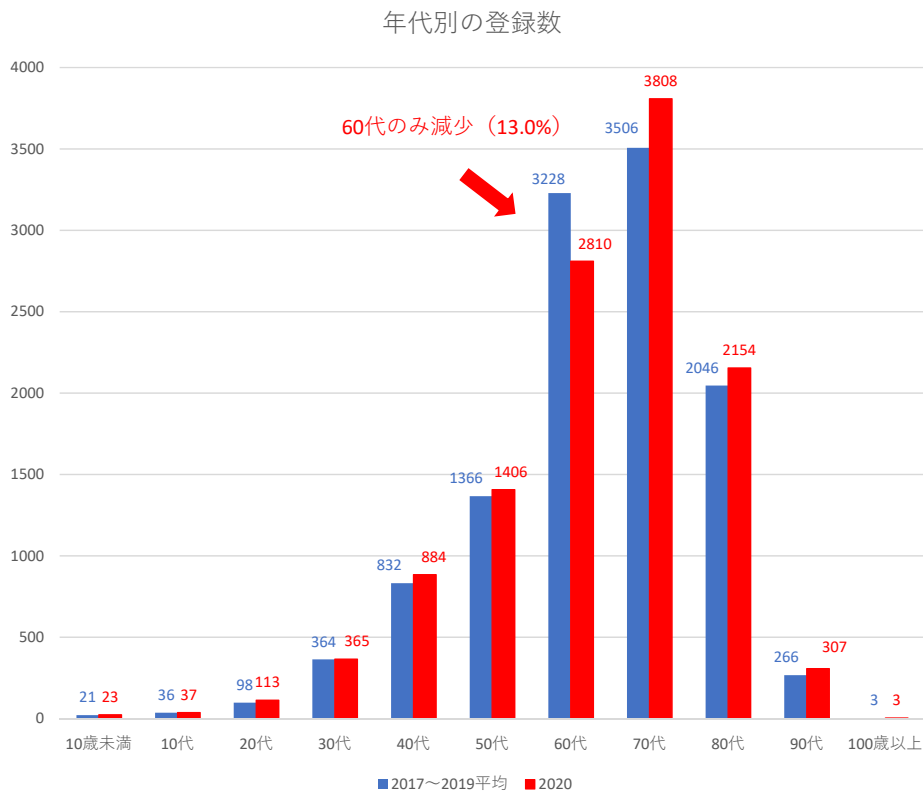
なかでも5月と8月に大幅に減少



1①-4 全施設合計・症例数・年代別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

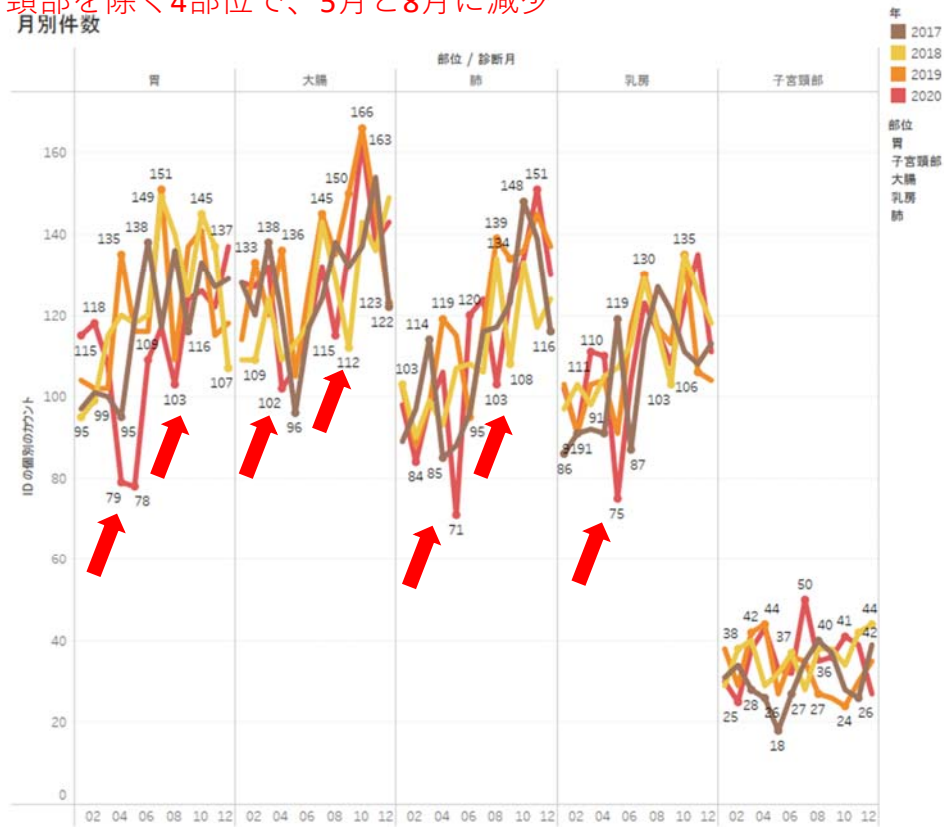
改めて年代別で比較すると、すべての年代のうち、減少していたのは60代のみ。



1①-5 全施設合計・症例数・部位別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

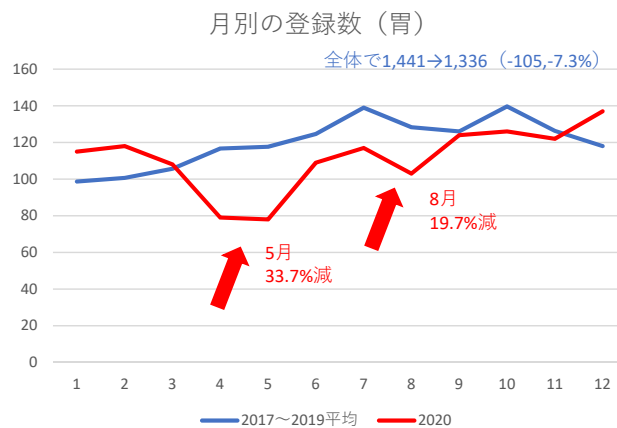
がん検診を行っている5部位に着目  
子宮頸部を除く4部位で、5月と8月に減少



1①-5 全施設合計・症例数・部位別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

胃は年間を通して7.3%減少  
特に、5~8月に減少し、5月は大幅に減少

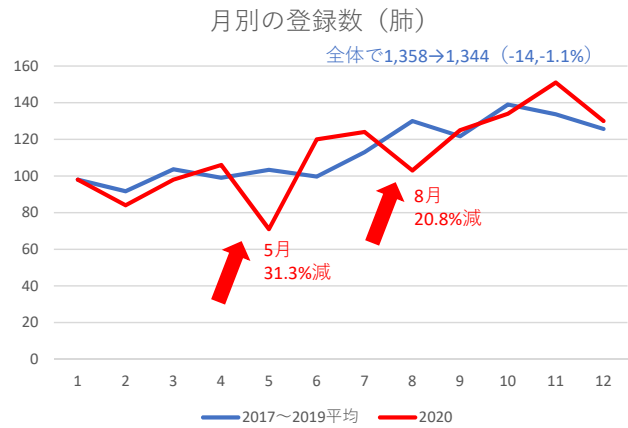
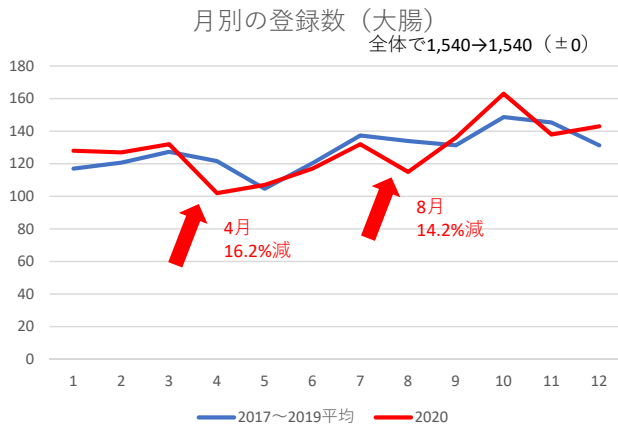




1①-5 全施設合計・症例数・部位別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

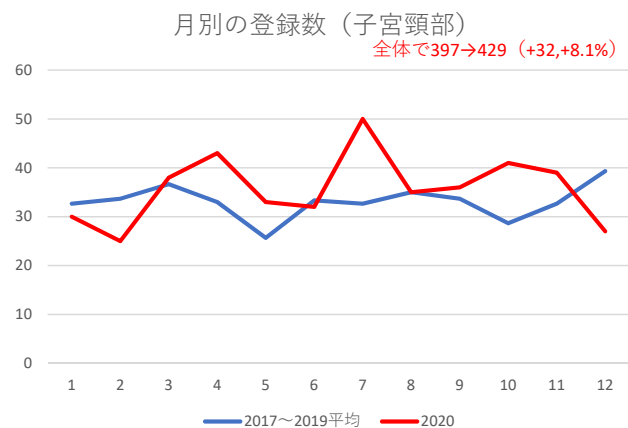
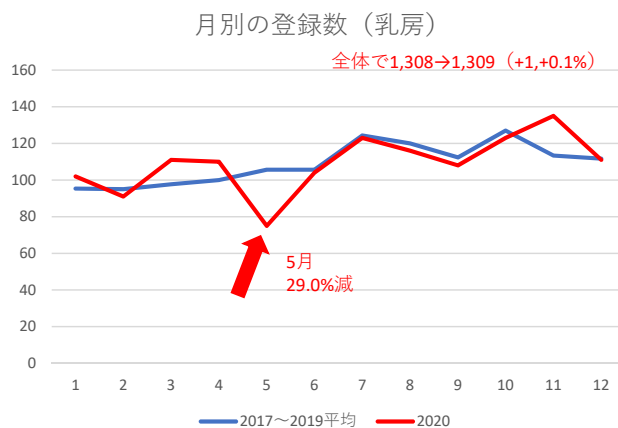
大腸は増減なく、4月と8月に減少  
肺は1.1%減少し、5月と8月に減少



1①-5 全施設合計・症例数・部位別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

乳房は0.1%増加し、5月に減少  
子宮頸部は8.1%の増加

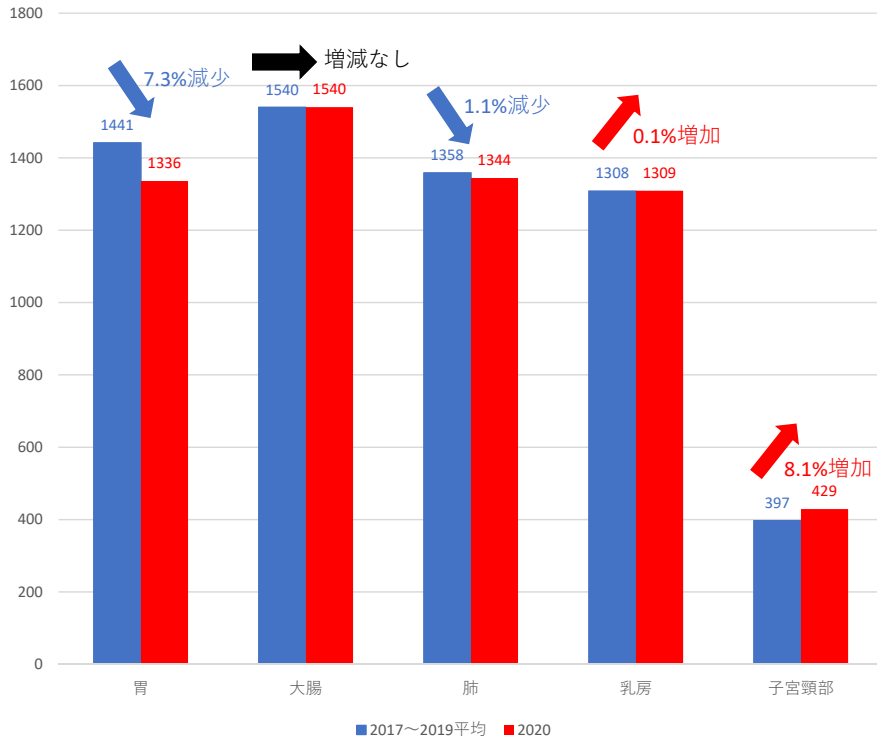


1①-5 全施設合計・症例数・部位別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

改めて部位別で比較すると、増減が大きかったのは、胃と子宮頸部  
胃は7.3%減少し、子宮頸部は8.1%の増加

部位別の登録数



1①-6 全施設合計・症例数・発見経緯別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

発見経緯別では、がん検診・健康診断・人間ドックが5~10月に減少

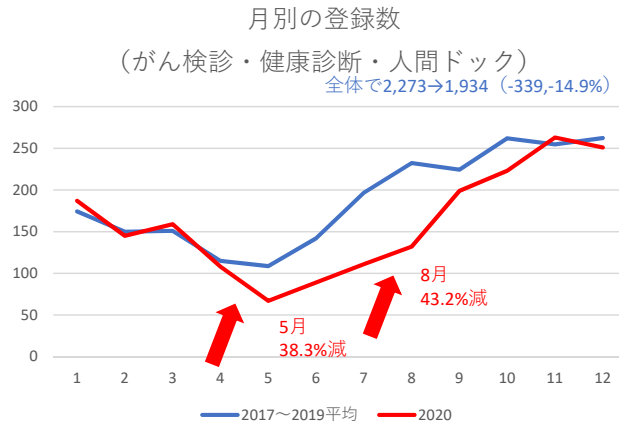
月別件数



1①-6 全施設合計・症例数・発見経緯別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

過去3年間と比較しても、がん検診・健康診断・人間ドックは5~10月に減少

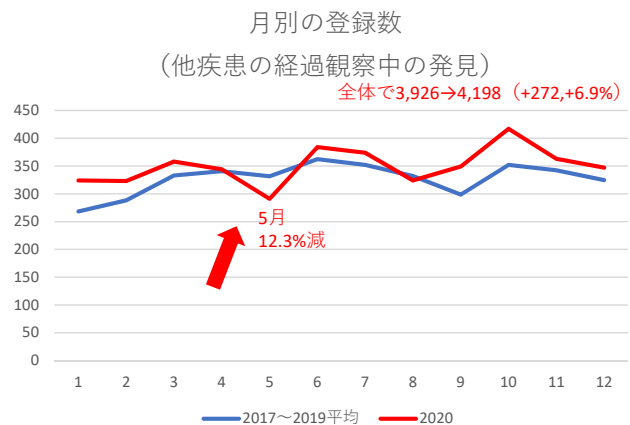
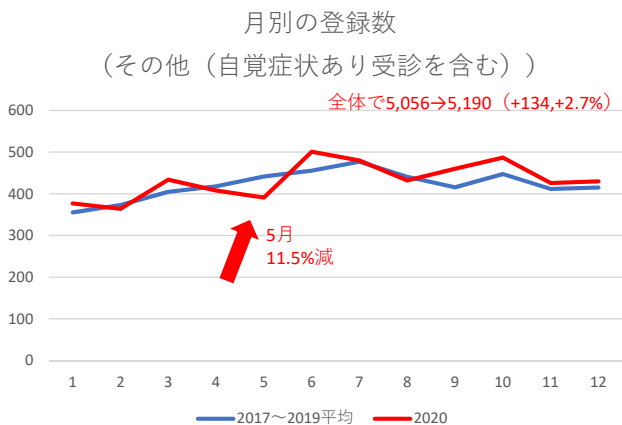


1①-6 全施設合計・症例数・発見経緯別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

その他(自覚症状あり受診を含む)は5月に減少

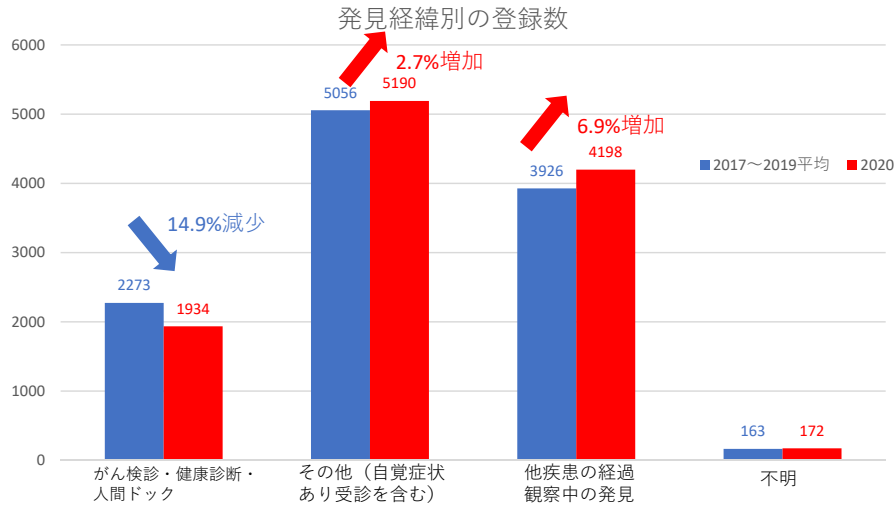
他疾患の経過観察中の発見も5月に減少



1①-6 全施設合計・症例数・発見経緯別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

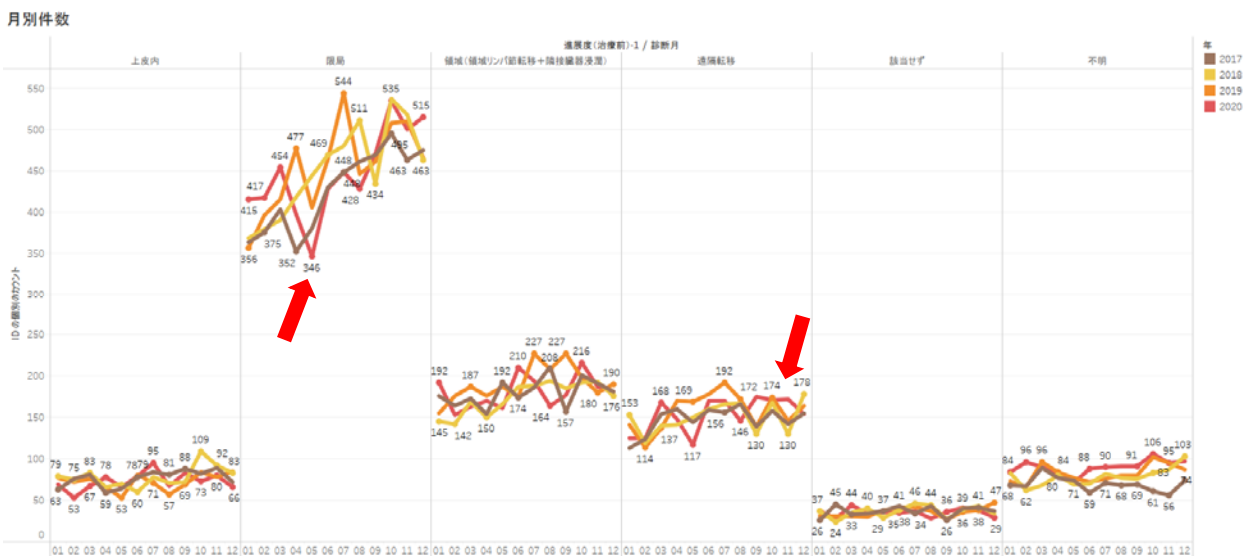
改めて発見経緯別で比較すると、がん検診・健康診断・人間ドックのみ減少



1①-7 全施設合計・症例数・進展度別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

進展度別では、限局は5月に減少、遠隔転移は9~11月に増加

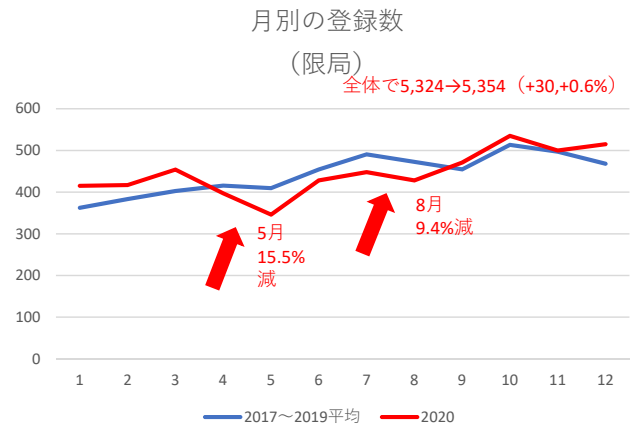
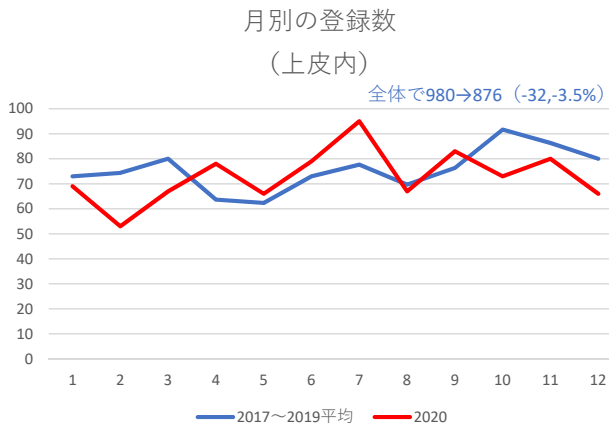


診断月のIDの個別のカウントの傾向は 進展度(治療前)-1 によって分類されています。色は年に関する詳細を示します。

1①-7 全施設合計・症例数・進展度別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

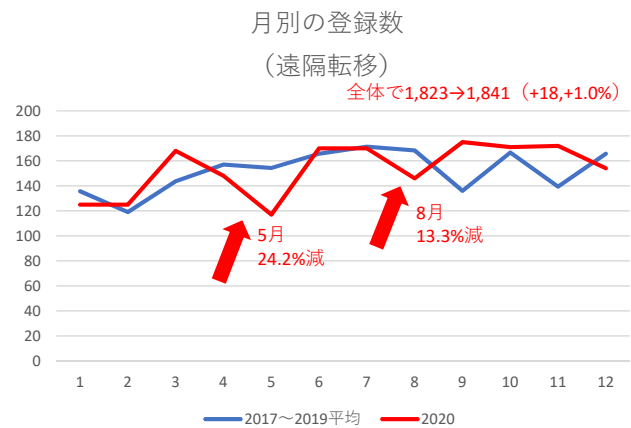
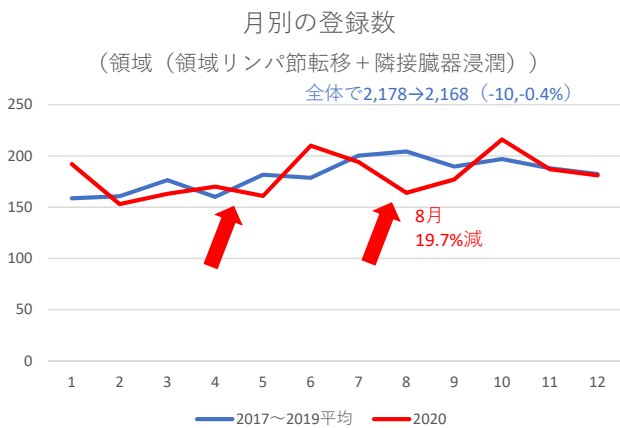
過去3年間と比較すると、上皮内は3.5%の減少  
限局は0.6%の増加で、5月と8月に減少



1①-7 全施設合計・症例数・進展度別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

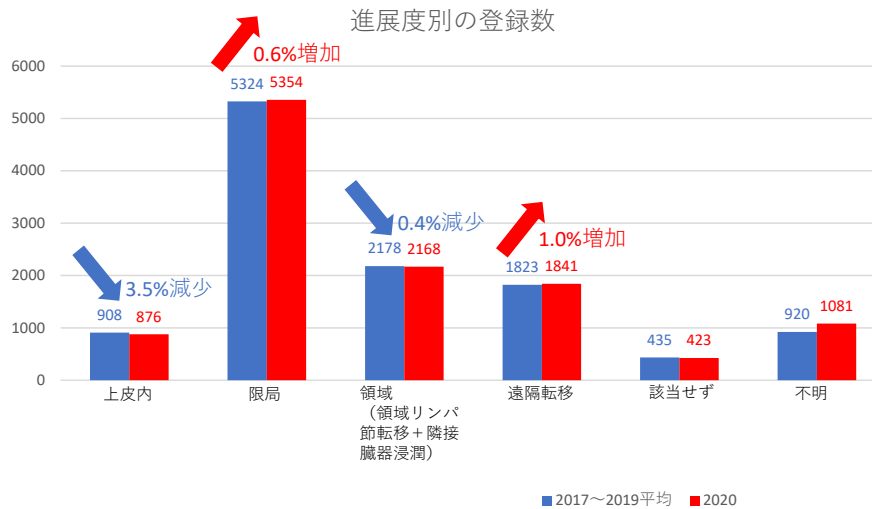
領域は0.4%の減少で、5月と8月に減少  
遠隔転移は1.0%の増加で、5月と8月に減少し、9~11月に増加



## 1①-7 全施設合計・症例数・進展度別

(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

改めて進展度別で比較すると、上皮内では3.5%減少したが、他は大きな変化なし



27

## 1 全施設合計

### ① 登録数 (まとめ)

- 収集症例数は、過去3年間の平均と比較すると、2020年は0.28%の減少
- 各月毎に過去3年間の平均を算出すると、0.7%の減少
- 月別...5月と8月に減少
- 性別...違いはなし
- 年代別...60代のみ減少し (-13.0%)、すべての月で減少
- 部位別...増減が大きかったのは胃と子宮頸部 (胃-7.3%、子宮頸部+8.1%)
- 発見経緯別...がん検診・健康診断・人間ドックのみ減少 (-14.9%)
- 進展度別...上皮内は3.5%減少も他に大きな変化なし

28

# 1 全施設合計

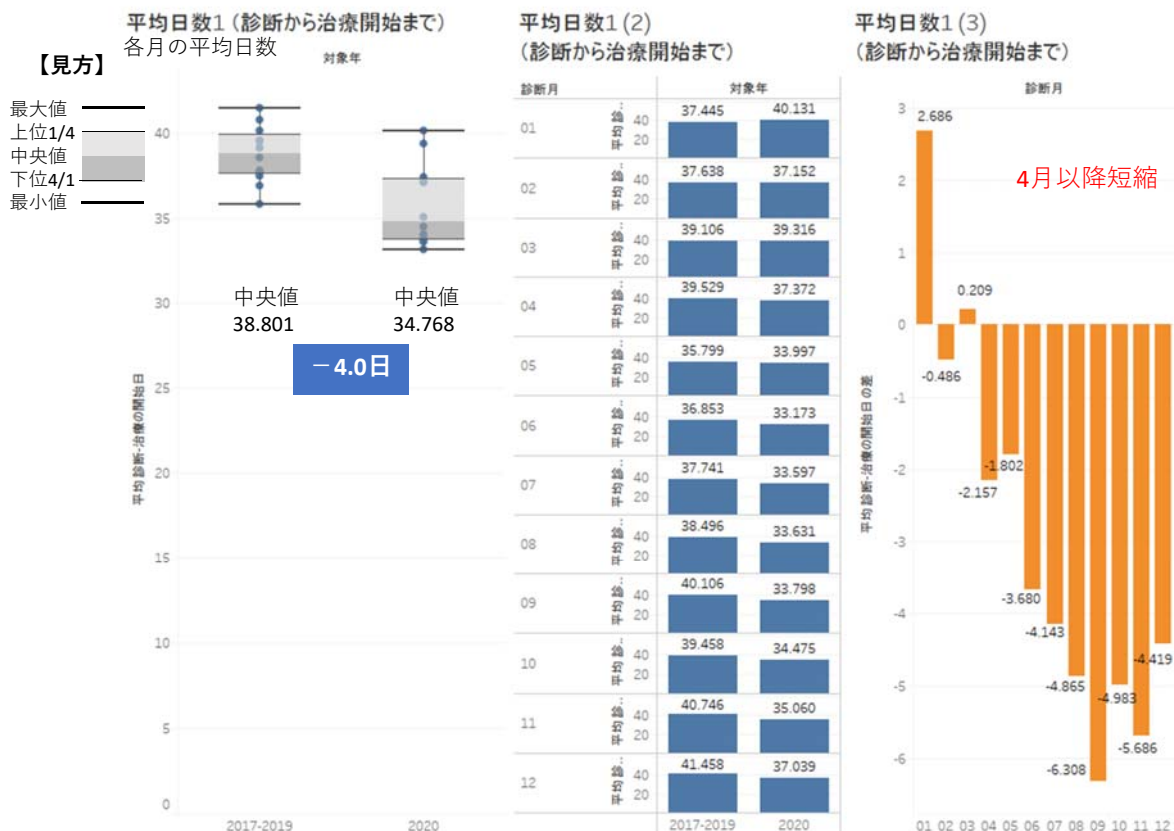
## ② 診断から治療開始までの日数

- 2020年の診断から治療開始までの日数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2017～2019年と比較して延長しているのではないか？

### 1②-1 全施設平均・診断から治療開始までの日数

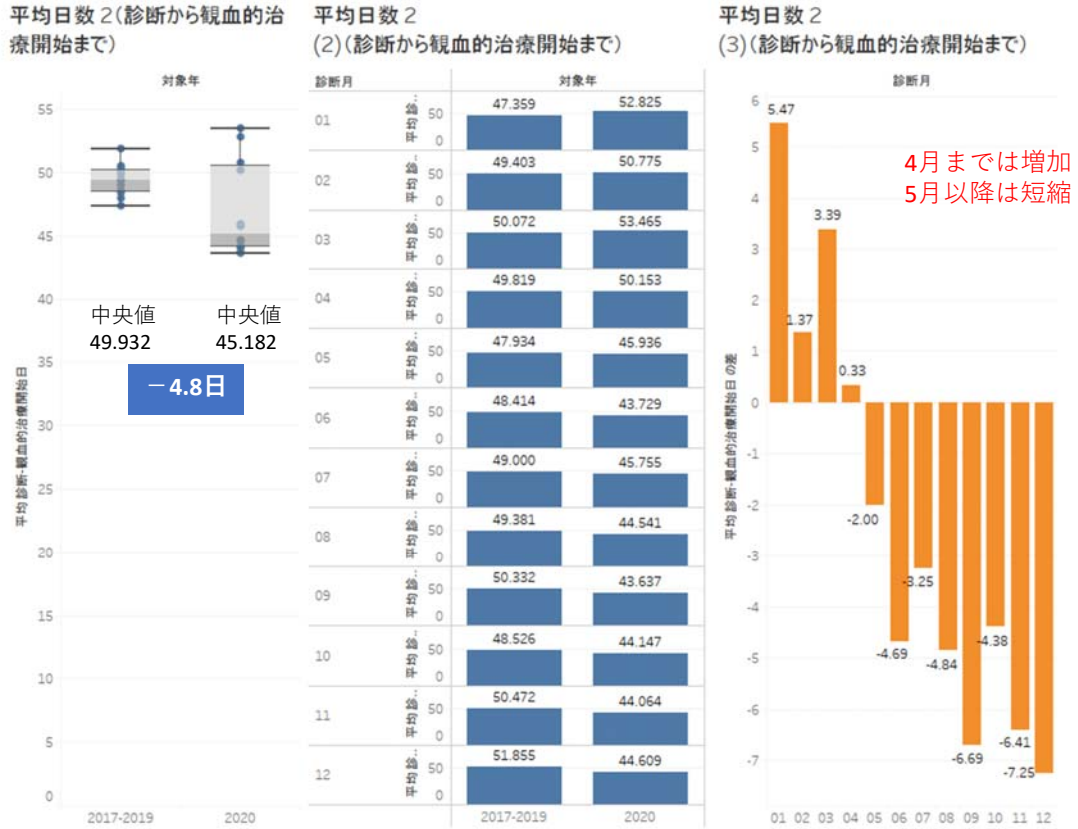
(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

予想に反して、日数は**4.0日短縮**



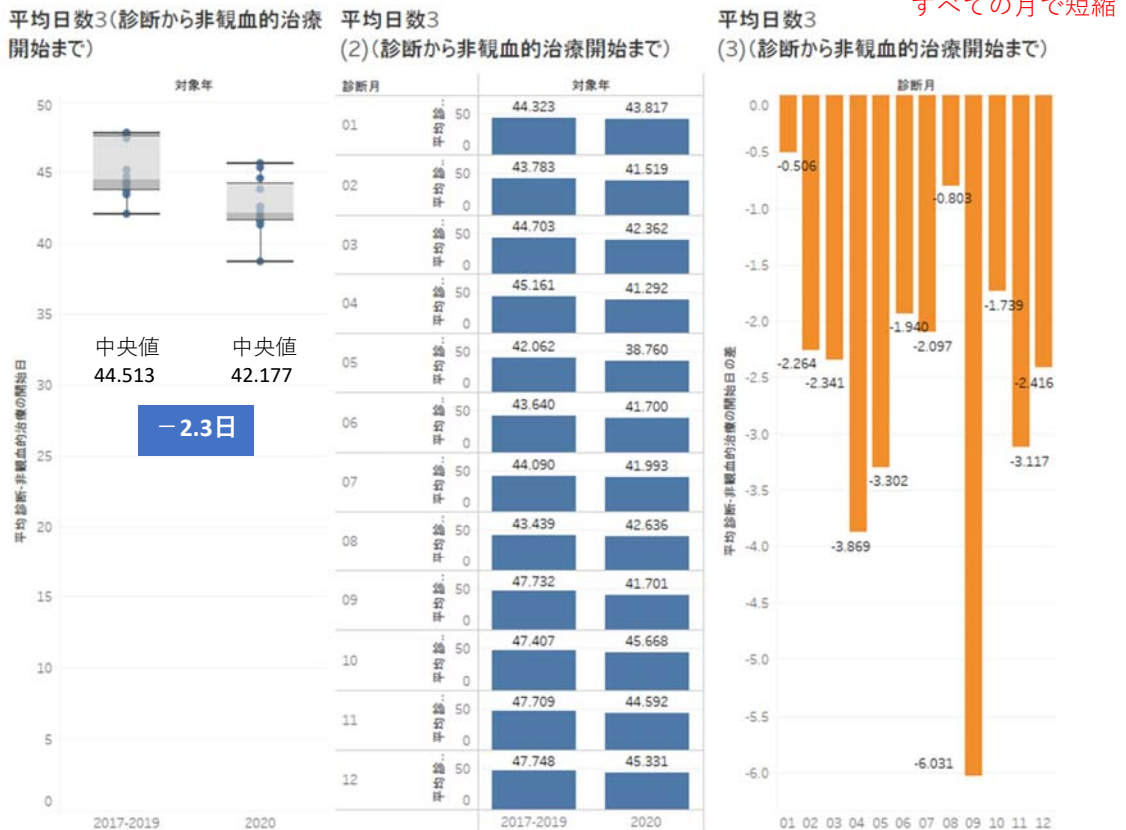
1②-2 全施設平均・診断から治療開始までの日数（観血的治療）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

観血的治療では4.8日短縮



1②-3 全施設平均・診断から治療開始までの日数（非観血的治療）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

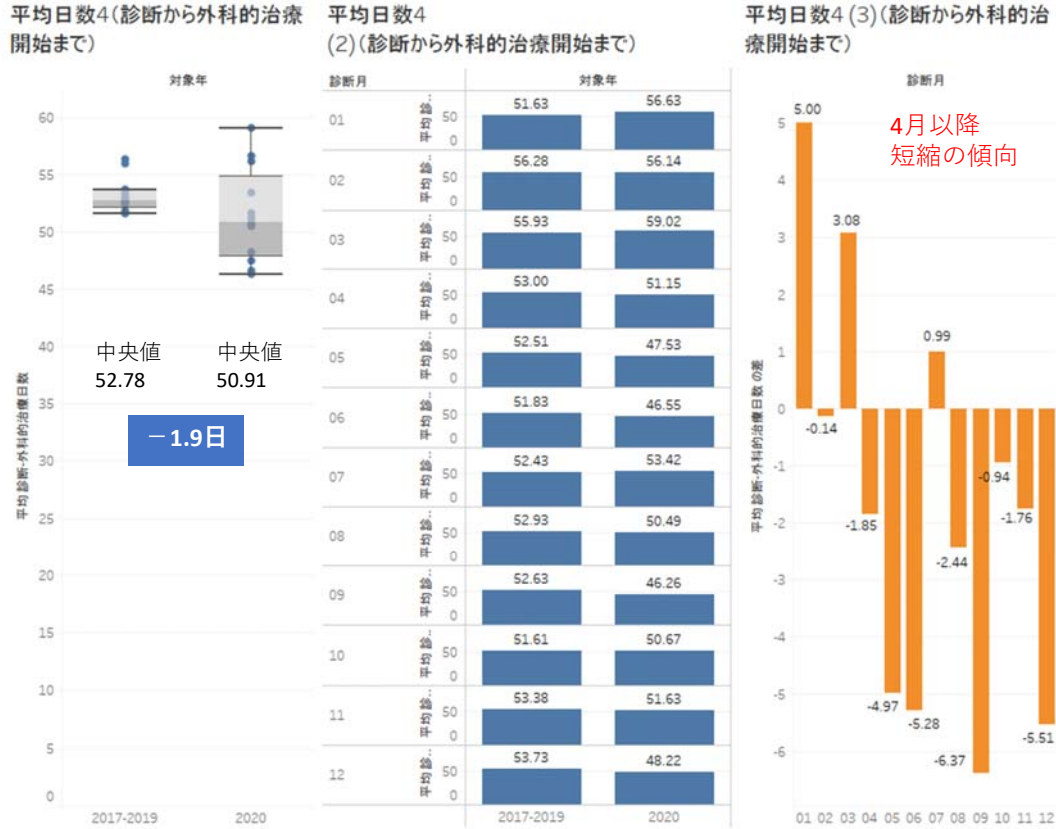
非観血的治療でも2.3日短縮





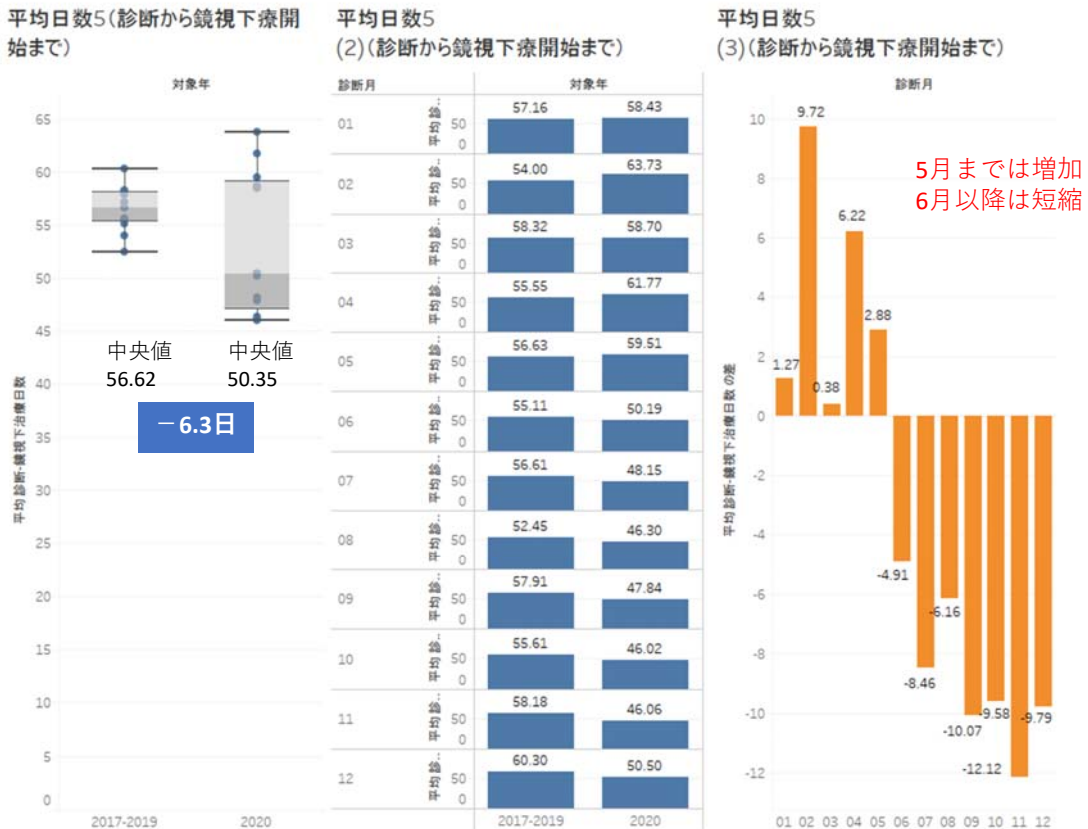
1② - 4 全施設平均・診断から治療開始までの日数（外科的治療）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

外科的治療では1.9日短縮

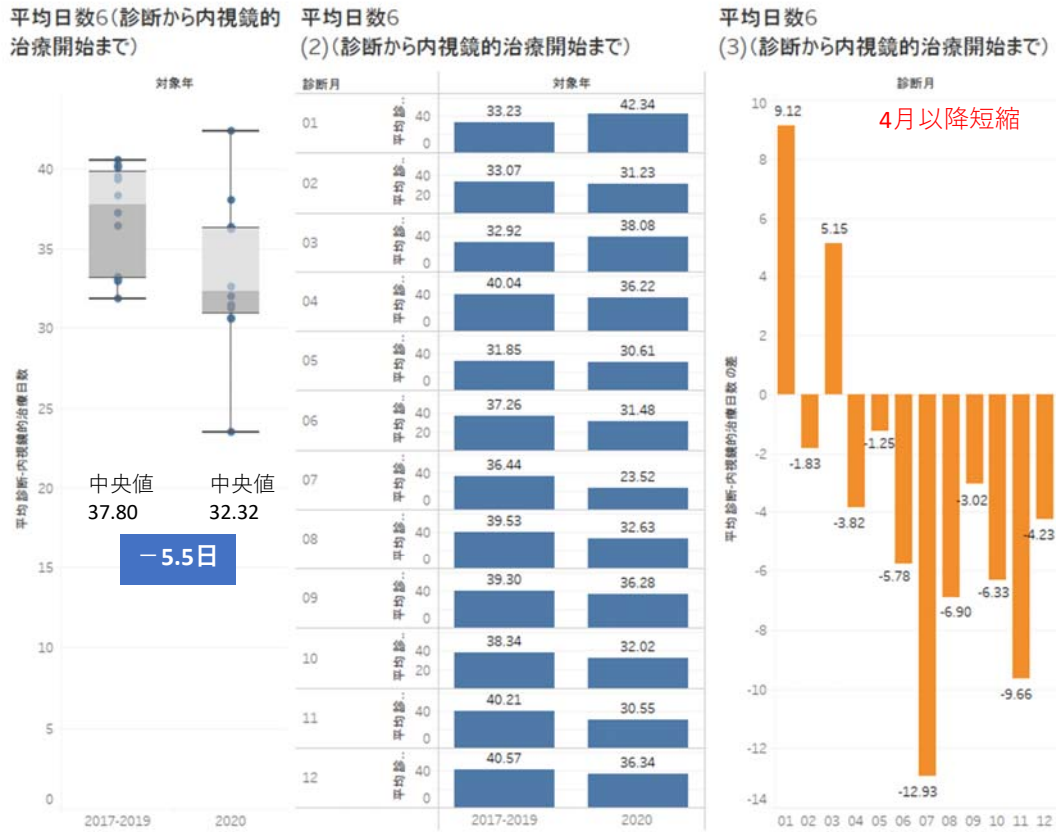


1② - 5 全施設平均・診断から治療開始までの日数（鏡視下治療）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

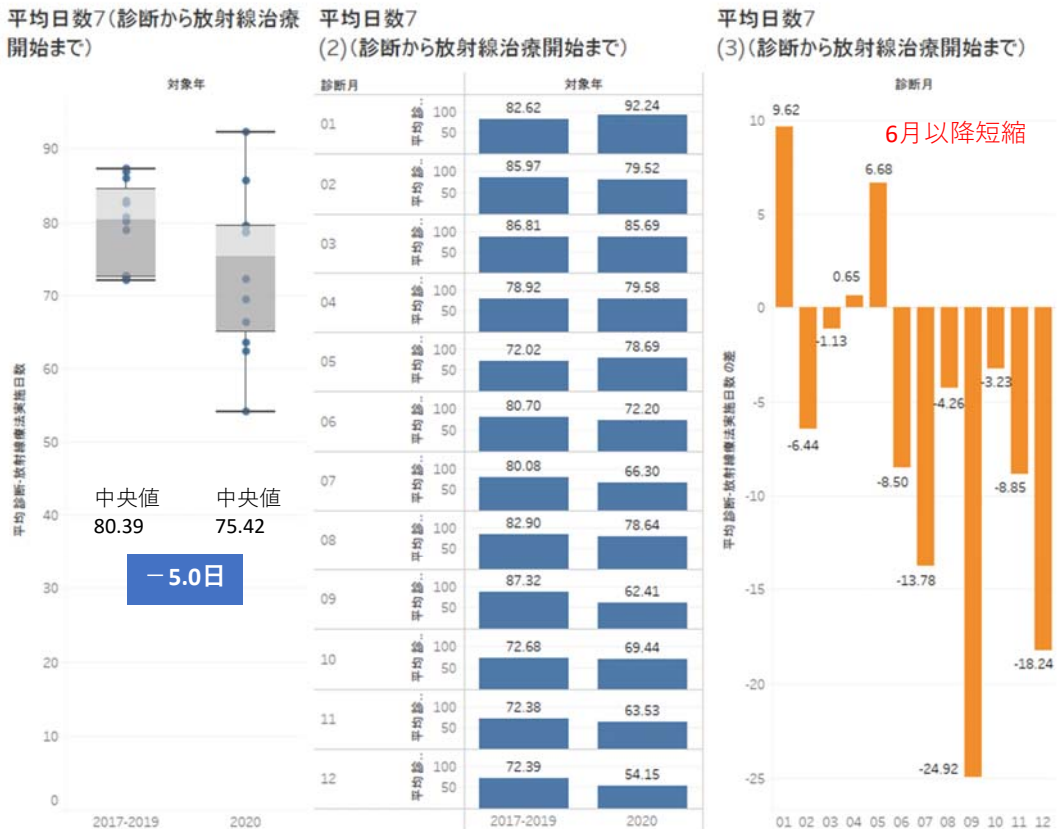
鏡視下治療では6.3日短縮



1② - 6 全施設平均・診断から治療開始までの日数（内視鏡的治療）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）  
 内視鏡的治療では5.5日短縮



1② - 7 全施設平均・診断から治療開始までの日数（放射線治療）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）  
 放射線治療は5.0日短縮



1② - 8 全施設平均・診断から治療開始までの日数（化学療法）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

化学療法では2.2日短縮

すべての月で短縮

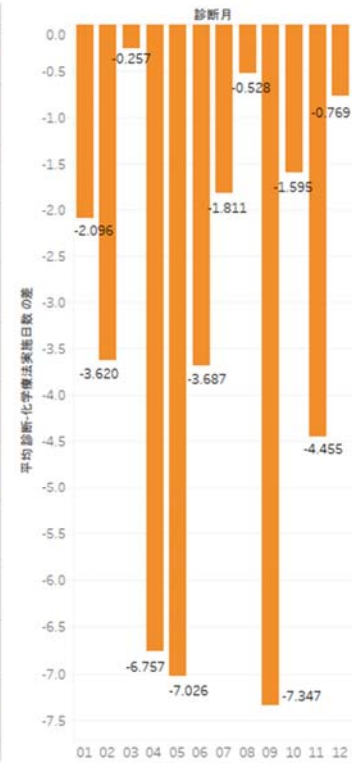
平均日数8(診断から化学療法開始まで)



平均日数8 (2)(診断から化学療法開始まで)



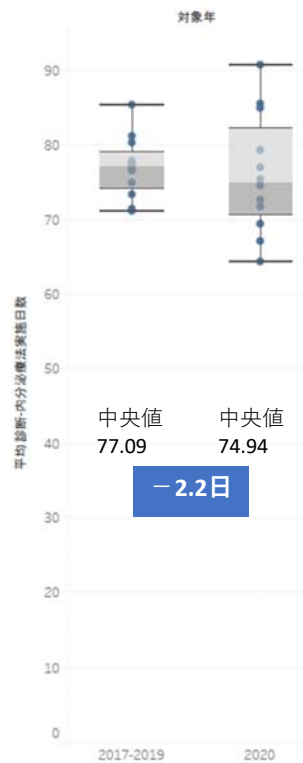
平均日数8 (3)(診断から化学療法開始まで)



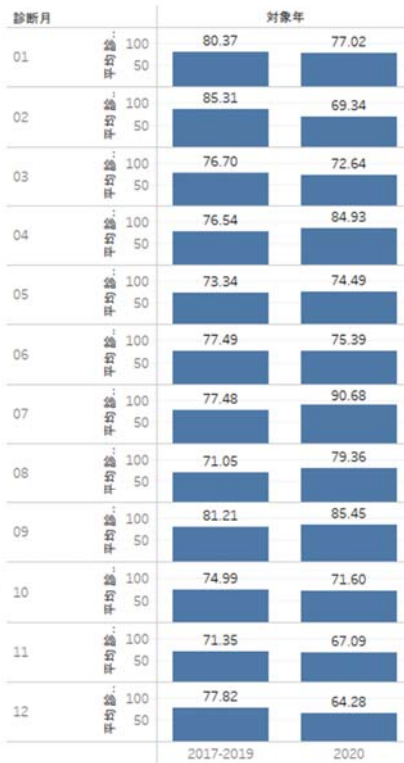
1② - 9 全施設平均・診断から治療開始までの日数（内分泌療法）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

内分泌療法では2.2日短縮

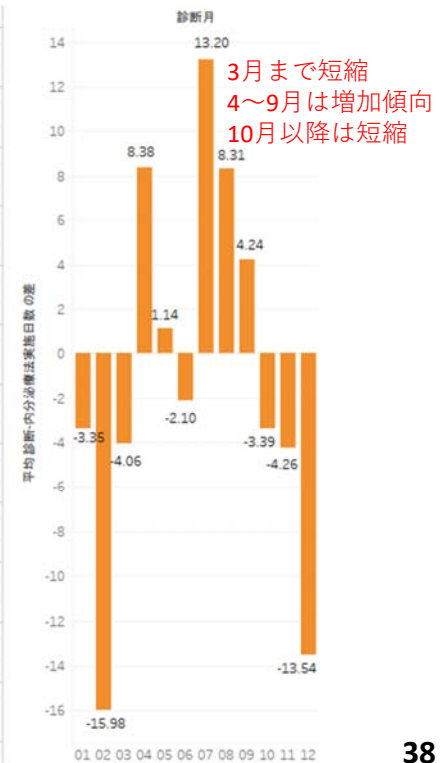
平均日数9(診断から内分泌療法開始まで)



平均日数9 (2)(診断から内分泌療法開始まで)



平均日数9 (3)(診断から内分泌療法開始まで)



# 1 全施設合計

## ② 診断から治療開始までの日数（まとめ）

- 予想に反して、日数は短縮

|           |              |         |       |
|-----------|--------------|---------|-------|
| <b>全体</b> | <b>-4.0日</b> |         |       |
| ○観血的治療    | -4.8日        | ○非観血的治療 | -2.3日 |
| ・外科的治療    | -1.9日        | ・放射線療法  | -5.0日 |
| ・鏡視下治療    | -6.3日        | ・化学療法   | -2.2日 |
| ・内視鏡的治療   | -5.5日        | ・内分泌療法  | -2.2日 |

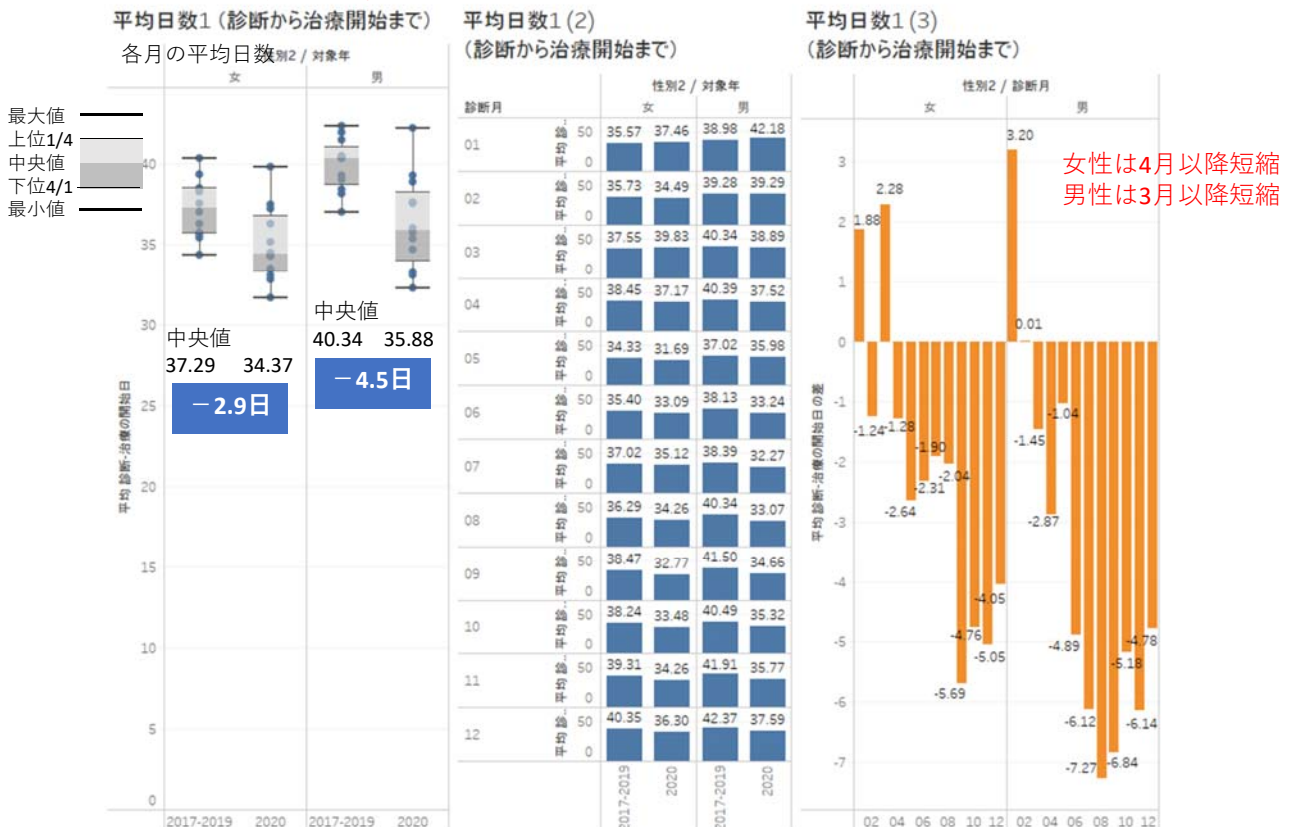
→

- 性別、年代別、部位別、進展度別、発見経緯別で傾向に違いはなかったのか？

### 1②-10 全施設平均・性別・診断から治療開始までの日数

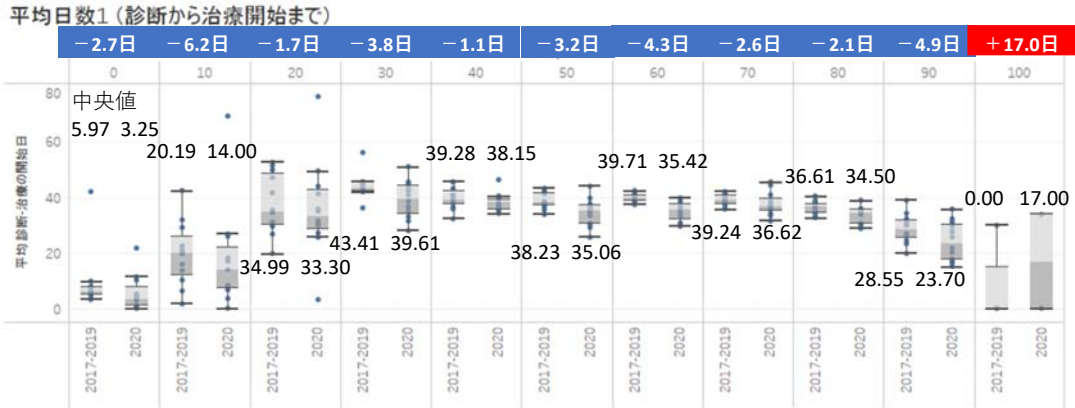
(自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続)

男女ともに日数は短縮



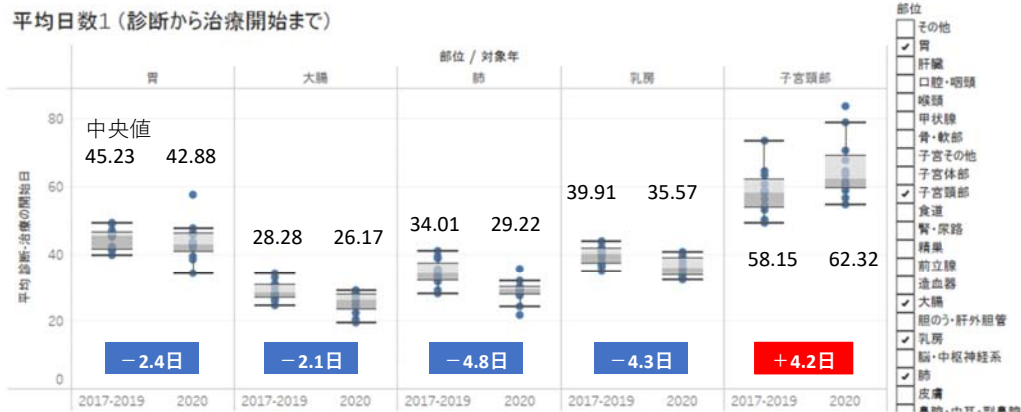
1②-11 全施設平均・診断から治療開始までの日数（年代別）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

100歳以上を除くすべての年代で日数は短縮



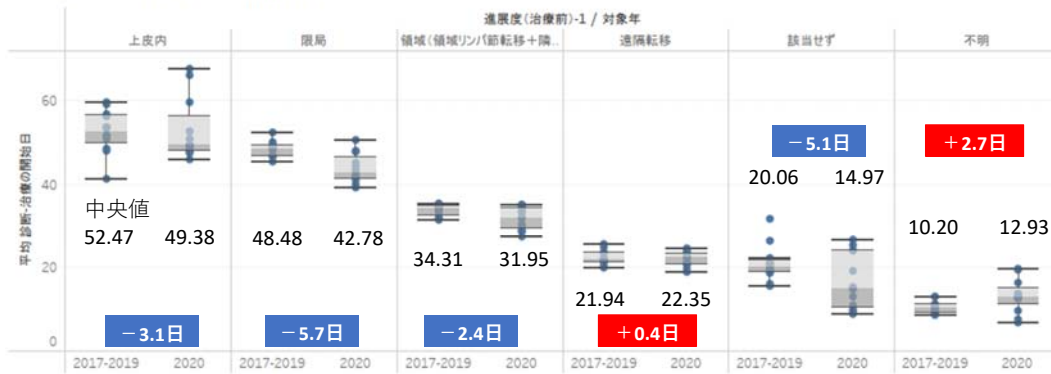
1②-12 全施設平均・診断から治療開始までの日数（部位別）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）

がん検診を行っている5部位に着目すると、子宮頸部でのみ日数延長



1②-13 全施設平均・診断から治療開始までの日数（進展度別）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）  
 遠隔転移と進展度不明で日数延長も、その他は日数短縮

平均日数1（診断から治療開始まで）

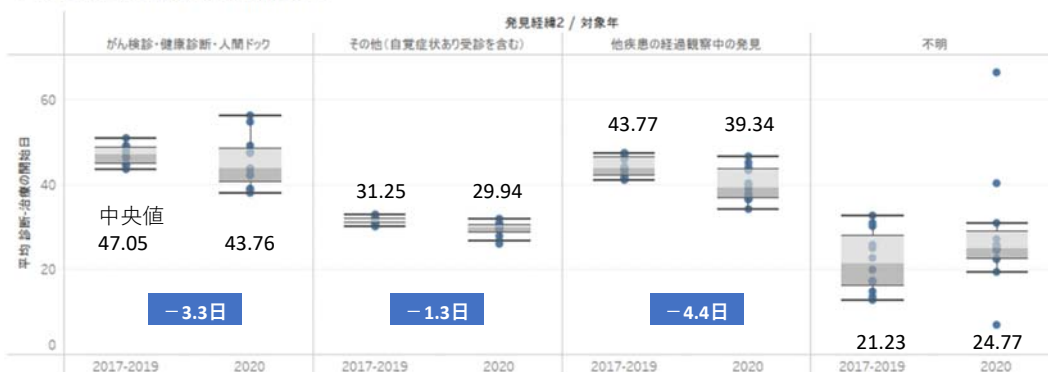


平均日数1(3)（診断から治療開始まで）



1②-14 全施設平均・診断から治療開始までの日数（発見経緯別）  
 （自施設診断・自施設治療開始/継続 + 他施設診断・自施設治療開始/継続）  
 不明を除き、発見経緯によらず日数は短縮

平均日数1（診断から治療開始まで）



平均日数1(3)（診断から治療開始まで）



## 1 全施設合計

### ② 診断から治療開始までの日数（まとめ2）

- 性別、年代別、部位別、進展度別、発見経緯別を問わず、概ね日数は短縮

| 区分    | 短縮日数  |
|-------|---|
| 男女別   | 男2.9、女4.5   |
| 年代別   | 10歳未満2.7、10代6.2、20代1.7、30代3.8、40代1.1、50代3.2、60代4.3、70代2.6、80代2.1、90代4.9 |
| 部位別   | 胃2.4、大腸2.1、肺4.8、乳房4.3   |
| 進展度別  | 上皮内3.1、限局5.7、領域2.4  |
| 発見経緯別 | がん検診・健康診断・人間ドック3.3、<br>その他（自覚症状あり受診を含む）1.3、<br>他疾患の経過観察中の発見4.4          |

- 日数が延長

| 区分   | 延長日数       |
|------|------------|
| 年代別  | 100歳以上17.0 |
| 部位別  | 子宮頸部4.2    |
| 進展度別 | 遠隔転移0.4    |

45

## 2 施設別集計

- 施設別集計については、現在、公表の予定はありません。

46